

桐蔭学園高等学校 インターアクトクラブ

高校生ボランティア・アワード2021

一 築いてきた絆 一

防災啓発

3.11プロジェクト

地域での講演会開催



10年前の3月11日、東日本を大震災が襲い、さまざまな教訓を残しました。これらの教訓を忘れないため、私たちは、地域の藤が丘商店街の有志団体「3.11を忘れない みんなでつながろう！藤が丘の街で」実行委員会と共に防災啓発活動を行っています。毎年、地域の地区センターで災害についての講演を聞き、ワークショップを開催することで、地域の防災に役立てています。

ミャンマー教育支援

★ 学校建設活動

募金活動やフェアトレード販売などで得た資金を国際協力NGO「Act for Child」に寄付し、ミャンマーの少数民族が多く暮らす地域シヤン州での学校建設支援活動に協力しています。NGOの方と共に部員も現地を訪問しました。

- 2016年 タピヤイコン村中学校建設
- 2017年 ターヤーコン村中学校建設
- 2018年 ザレー村幼稚園建設
- 2019年 サケー村幼稚園建設

国際協力



一 地域と共に、未来のために 一

地域貢献

環境保全

地域のお祭り お手伝い

地域のお祭りに参加し、焼き鳥など出店ブースのお手伝いや、フェアトレード品の販売を行っています。昨年度はコロナ禍で中止でしたが、感染対策を徹底することで、今春には「さくら祭り」が開催され参加しました。これまでに築いた絆を大切に、今後も地域の方々との交流を続けます。

ハマロード (横浜市清掃活動)



学校や駅の周辺のごみ拾いをしています。月に1、2回実施し、きれいな道を保つように活動しています。私たちがハマロードを実施することによって、一般の方々もきれいにしてくれるようになり、お互いに良い関係を築くことができている。きれいな道を保ち続けることが自分達のモチベーション維持に繋がっています。今後は、もっと活動範囲を広げていきます。

コンタクトレンズ 空きケース回収

校内の各昇降口に回収BOXを常時設置し、使い捨てコンタクトレンズの空きケースのリサイクル運動をしています。ゴミとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルすることでCO2排出量を削減し、深刻化している地球温暖化を対策できます。リサイクル業者に買い取っていただいた収益は日本アイバンク協会に寄付され、角膜の病気の方の視力回復のために役立っています。昨年度は17990個、17.99kg集めました。



放課後キッズクラブ お手伝い

コロナ禍において例年以上に、子どもたちが安心して過ごせる居場所作りも課題となっています。昨年度は、夏休み期間に小学校放課後キッズクラブでのボランティアに参加しました。今年度も可能な限り参加し、地域の児童との交流を図ります。

一 未来へ繋ぐ 一

2021年度活動テーマ
「未来へ繋ぐ、未来を創る」

一 東日本大震災から10年の節目に 一

2021

一 コロナ禍、クーデターの苦境でも 一

防災啓発

新たな挑戦、広がる活動

国際協力

3.11プロジェクト

地域の商店街有志と連携して 初のオンラインイベント開催

例年、地域の地区センターで、震災関連の「3.11を忘れない みんなでつながろう！藤が丘の街で」というイベントを商店街有志の方々と共催しています。昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年3月には初めてオンラインイベントでの開催に挑戦しました。震災で多くの児童が犠牲になった宮城県石巻市の大川小学校を2020年1月上旬に訪れた部員3名が、現地で学んだことや感じたことを発表しました。訪れた際に案内して下さった佐藤敏郎先生は、現地で語り部として当時のことを伝える活動をされており、イベント当日は講師として話していただきました。初めてのオンラインでの実施となり不安もありましたが、事前打ち合わせを綿密に行った甲斐もあり、無事に開催することができました。3.11を忘れないこと、このようなことを繰り返さないためにどうすべきかを考える場として今後も継続的に開催します。今年度2022年3月にも開催する予定です。



公益財団法人と新たに創り上げる イベント実行委員会発足

イベント概要(予定)
名称:「あれから10年 震災から学ぶ」(仮称)
日程:2021年12月11日(土)
時間:15:30~18:00
会場:横浜市内ホール小ホール + オンライン
主催:公益財団法人「よこはまユース」
共催:横浜市子ども青少年局
今年度は例年の活動に加え、新たに公益財団法人よこはまユース主催のイベント「あれから10年 震災から学ぶ」に関わり、今年3月に開催したイベントの新聞記事をご覧になった公益財団法人の方から情報をいただいたことがきっかけとなりました。12月11日に関内ホール小ホールとオンラインのハイブリッド型で実施します。開催に向けて、有志の大学生の方々と共にイベント実行委員会を発足し、協力して準備を進めています。釜石と繋がりがある石井光太氏をファシリテーターに迎え、私たち実行委員が取材などを通して学んだことや感じたことを発信し、パネルディスカッションを行う予定です。

フェアトレード品販売

新規ネットショップ開店に協力

ミャンマーやタイのストリートチルドレンや少数民族達が作ったフェアトレード品を販売し、アジアの子どもたちを支援しています。今年度からの新しい取り組みとして、長年連携して活動してきた国際協力NGO「Act for Child」の事務局での仕事体験を始めました。フェアトレード品販売活動では、出店できるイベントが減少している状況においてもできることとして、新規にネットショップを開店することにし、立ち上げ作業を共に行いました。商品掲載するにあたり、見栄えの良い色合いの品の選定や写真撮影など、意見を出し合いました。多くの方々に趣旨に賛同していただけるよう工夫していきます。

感染対策を徹底したブース販売

アジアの子どもたちのことを直接人々に訴え、現状を知っていただく機会は大切です。コロナ禍においても安心して支援していただけるよう、ビニール手袋の着用、ブースのシート張り、マスク着用など感染対策を徹底することで出店販売を可能にしました。まだまだ出店できるイベントは限られていますが、これからも機会を見つけ、多くの方々からアジアの子どもたちに関心を持っていただけるよう努めます。

ミャンマー学習会



私たちの主な支援先であるミャンマーについてもっと知るため、国際NGO団体の方や大学生をお招きし、各自が様々なテーマについて発表する学習会を定期的に行っています。現地を訪問しての学校建設活動はコロナ禍により停止となった上、今年2月には軍事クーデターが起こり、現地の方と密に連絡をとることもままならない日々が続いています。どのような苦境でも、教育が滞ることは本来あってはなりません。私たち自身も昨年度に一斉休校となりオンライン授業を受ける中、教育の大切さを痛感しました。ミャンマーの政局が安定し、コロナ禍が終息して、再び学校建設活動が行えることを願い、すぐに活動を再開できるよう、学びを深め支援を訴え続けます。



一 未来を創る 一

防災啓発活動では、例年の活動に加えて新たなイベントも開催します。今年度は岩手県釜石市の方々と交流を計画しており、取材を通して得たことや考えたことを映像にして発信します。防災では過去の災害の経験を未来へ繋げていかなることが大切です。1人でも多くの人に震災から学んだ教訓を継続的に伝えていくことで、より多くの命を守る未来へ繋がります。ミャンマー学習会で学んだ内容やフェアトレード販売の収益は、ミャンマーなど東南アジアでの教育支援にいかしていきます。少数民族の子ども達が学校で使う公用語を習得するための幼稚園建設などを計画しています。現地の方々に建設作業に参加してもらうことで教育意識を高め、地域の繋がりを深められるようにしています。子ども達が勉強を受けやすくすることで教育格差の解消や進学率の向上に繋げ、貧困の連鎖から抜け出せるように支援します。昨年度から始めたコンタクトレンズケースの回収は、設置場所の紹介動画を新たに作成し、より多く協力してもらえるように取り組みます。ハマロード(清掃活動)も範囲を広げて取り組み、地球に優しい未来を創ります。

コロナ禍前に行っていた活動も変化に応じて再開させ、より良い活動へと深めていく所存です。私たちが新たに始めた活動も、関わる地域の方々や後輩たちへとバトンが繋がれて、更なる活動が生まれるでしょう。一步一步の積み重ねが未来を創ります。今すぐには実現が難しい活動も未来へ繋ぐことでより良い未来を創ることができると考えています。世界を生きる人々が幸せに暮らせる未来のために、一歩ずつ行動を起こしていきます。

今、私たちが 未来へ繋ぐ、未来を創る。

プロフィール

地域環境を良好に保つための環境保全、命を守るための防災啓発、教育支援や生産者支援を含む発展途上国への国際協力を続けています。その時その場所でお会いする方々との関わりを大切に築いた絆が、新たな活動へと繋がりが広がっています。

日々の活動を投稿しているFacebookもご覧ください。
<https://www.facebook.com/toin.iac/>